

ミズナラ



写真／新城仙台山の三本ナラ
(豊岡町251番地)

芦別市の指定文化財で、推定樹齢い
ずれも442年以上のミズナラ巨樹3本。
敷地内には昭和2年建立の水神碑があ
る。

〒075-8501 北海道芦別市本町14番地 TEL0124-22-2701

新年明けましておめでとうございます

土曜日、休日の診療体制変更のお知らせ

土曜日、休日は外来休診日です。

医師の負担軽減を図るため、診療体制の見直しを行い、次のとおり変更しました。

○休日（8時30分から17時まで）

1 当院が救急当番医の場合

- ・日直の医師が診療します。
- ・正面玄関は開いています。

2 当院が救急当番医でない場合

- ・他の救急当番医で受診して下さい。
- ・1月からは正面玄関を閉めています。

○土曜日（8時30分から17時まで）

- ・救急当番医は設けられていません。
- ただし、午前中は診療している医療機関がありますので、そちらで受診できます。
- ・1月からは正面玄関を閉めています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。（関連記事：次頁）

1月から外来の診療体制が変わります

○循環器科

従来、第2・第4木曜日（午後）に富良野協会病院から診療応援に来ていただいていた新患・予約外担当の出張医が毎週木曜日（午後）に来ていただけることになりました。

○泌尿器科

毎週火曜日に旭川医科大学から診療応援に来ていただけることになりました。（午前10時頃からはとなりますので、それまでは新堀医長が診療します。）

いずれも出張医師については、ロビーなどに置いてある各科ごとの「診療予定表」をご覧ください。

夜間・休日の安易な救急外来受診はやめましょう

「平日は仕事で病院に行けない」、「夜でもやっているから」などの理由で、安易に夜間・休日に救急外来を受診する、いわゆる「コンビニ受診」の患者さんが増えています。

現在、当院の内科医師は3人体制で以前より減少しており、平日の診察や入院患者さんの診察のほか、夜間・休日の救急患者さんに対応するための当直があり、過重労働となっているのが実態です。

安易な理由での夜間・休日の受診は、緊急を要する重症患者への影響が出るほか、医師の過重労働、ストレス蓄積に拍車がかかり、平日診療にも影響を及ぼします。

この結果、肉体的・精神的に医師が疲弊し、市立病院から医師がいなくなってしまうことにもなりかねません。

医師の負担軽減を図り、適切な救急医療体制を維持するために、自己本位の安易な受診をやめ、救急患者さん以外は、平日の診療科ごとに定められた時間に受診するようお願いいたします。

◎医師が困惑した診療時間外の受診例を挙げると……

- 5日前から食事がとれないので点滴してほしい
- 平日の昼は待ち時間が長いから
- 薬がなくなった。平日は仕事で受診できないので、2週間分の薬を処方してほしい（診察の結果、薬が必要となっても、救急外来では必要最小限の処方だけで、後日、改めて平日に受診するようすすめても理解されません）
- 数日前に高い場所から飛び降りて足を痛めた。痛みがだんだんひどくなってきたので、レントゲンを撮ってほしい（夜間・休日は検査技師の体制が整っていないため、平日の受診を）

コンビニ受診とは？

一般的に外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、救急外来を受診される緊急性のない軽症患者の行動のこと。

出典：

フリー百科事典「ウィキペディア」

病院ホームページをリニューアルしました

芦別市公式ホームページがリニューアルされたことに伴い、病院ホームページもリニューアルされましたので、是非ご覧ください。

●病院ホームページ アドレス

http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/byoin_jimukyoku/ashibetsu_hospital/index.html

「脳卒中」などの疑いのある場合の救急搬送について

救急搬送は、傷病者をいち早く医師の管理下に置くことが目的であり、従来は当院に搬送されてきました。しかし、一部の疾患については、限られた時間内に治療ができれば、後遺症が残らなかったり、後遺症が軽くなる場合が増えてきているため、「脳卒中」「急性心筋梗塞」「高エネルギー外傷」の疑いがある場合は、患者さんあるいは家族の同意を得て、当院の医師が救急隊員からの電話報告を受け、当院を介さず直接専門医のいる医療機関に搬送する方法を取り入れます。



◎具体的な症状

■脳卒中の可能性の高い患者さん

- ①突然の顔面、上下肢のしびれや脱力の出現
- ②突然の片眼や両眼の視力異常の出現
- ③突然の言語理解や会話の混乱出現、会話の不成立
- ④突然の歩行障害、めまい、バランス障害、不器用の出現
- ⑤突然のかつてない激しい頭痛の出現 など

■急性心筋梗塞の可能性の高い患者さん

- ①20分以上の胸部痛、締めつけられるような痛み
- ②背部の激痛 など

■高エネルギー外傷の患者さん

高所からの転落やある程度のスピード以上での自動車事故などの受傷機転から判断して重大な損傷を負っている可能性がある場合

◎小児の救急体制について

当院では、平成16年に小児科医師が不在となって以来、小児科を休診していますが、当院に小児の診察に来られた場合は内科医師を中心となって診察してきました。

しかし、内科医師は現在3名体制で負担が過重な状況にあるため、今後の小児の救急については、以下の体制とします。

◆平日の日中

市外の専門医のいる医療機関に直接搬送します。

◆夜間や土、日、祝日

原則、当院で診察（当直医が対応）します。ただし、症状によっては専門医のいる医療機関へ搬送することもあります。

言語聴覚士を募集しています

採用職種 (試験区分)	言語聴覚士	
採用予定 人 員	1人	
採用予定 年 月 日	平成22年4月1日予定	
職務内容	市立芦別病院（医局リハビリテーション室）に勤務し、失語症患者・構音障害患者・摂食機能障害患者への治療等に従事します。	
試験日程及 び試験会場	第1次試験日	平成22年2月5日（金） 会場 市立芦別病院
	第2次試験日	平成22年2月下旬（予定） 詳細については、1次試験合格者に対して別途通知します。
	注 試験時間及び試験会場等の詳細については、第1次試験申込者に対して別途通知します。	

受験資格、試験方法、給与などの詳細は市立芦別病院事務局総務係にお問い合わせいただくか、病院ホームページをご覧ください。

●市立芦別病院事務局総務係：Tel 0124-22-2701（内線215）

●病院ホームページ アドレス

http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/byoin_jimukyoku/ashibetsu_hospital/index.html

自動電子血圧計を寄贈していただきました

横浜ベイスターズ 木塚敦志選手から自動電子血圧計と血圧計専用プリンターを寄贈していただきました。

木塚選手のお父さんが本市の出身とのご縁から平成14年から毎年、車椅子を寄贈していただいていたが、ロビーに設置してあった自動電子血圧計が老朽化で修理不能となっていたことから、今回は自動電子血圧計を寄贈していただいたものです。



なお、使用に当たっては、添付の説明書をご覧ください、大切にお使いください。

木塚選手のプロフィールなどは、横浜ベイスターズのオフィシャルサイトをご覧ください。

●横浜ベイスターズ オフィシャルサイト アドレス

<http://www.baystars.co.jp/>